

- ==== ぜひご参加ください！ ====
- ・老化や高齢期の研究を行っている方
  - ・これから研究を始めようと考えている方
  - ・老年学に興味のある学生
  - ・老年期に関して学びたい一般の方

## 地域高齢者を対象とした 健康長寿調査 (SONIC) 第1回成果報告会

# 「からだ」と「こころ」の 加齢と健康長寿

参加費無料

事前申込不要

途中入退場可

2014年8月23日(土) 13:00~16:00

伊丹市立生涯学習センター ラスタホール

兵庫県伊丹市南野 2-3-25 ●定員 / 300名



2014年8月24日(日) 13:00~16:00

和田山ジュピターホール

兵庫県朝来市和田山町玉置 877-1 ●定員 / 800名



### SONIC 3年間の概要

〔報告者〕 権藤 恭之

(大阪大学大学院人間科学研究科  
臨床死生学・老年行動学研究室)

本調査は、人間が年をとることとはどういうことなのか、健康で長生きされる人はどのような特徴があるのか。という2つの疑問を明らかにするために計画されました。20年継続する予定で、2010年から全国4つの地域で調査を実施しています。今回は、これまでの調査の進捗状況と心理面での幾つかの興味深い結果についてご紹介いたします。

### 身体機能・病気と老化・長寿

〔報告者〕 神出 計

(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
総合ヘルスプロモーション科学)

健康寿命とは大病をせず、自立して元気に日常生活を過ごせる期間のことを言います。我が国は平均寿命とならんで健康寿命も世界の最上位にランクされています。いっさい怪我をせず病気にならなければ健康寿命は長くなりますが、老化を止めることはできません。今回は医学的な側面から老化によって起こってくる病気についての結果をご紹介いたします。

### 歯と健康長寿

〔報告者〕 池邊 一典

(大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建  
学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

家族や友人と楽しく会話し、美味しい物を食べることは、生活を豊かにし、健康維持にも重要です。歯科治療は、食べることを回復する医療として重要な役割を担っています。しかし、食物を噛んで飲み込める状態にする機能、すなわち「咀嚼」は、高齢になると衰えることが多く、個人差も大きいとされています。今回は歯の状態、歯と食生活や全身の健康との関係についてご紹介いたします。

【主催】大阪大学老年学研究会

【事務局】大阪大学大学院人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学研究室

【問合せ先】 Gerontology.Osaka@gmail.com TEL.06-6879-8060

【共催】慶応義塾大学医学部百寿総合研究センター、東京都健康長寿医療センター研究所、大阪大学大学院人間科学研究科

【協力】大阪大学 21世紀懐徳堂